



環 審 第 8 号
平成 24 年 1 月 30 日

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

沖縄県環境審議会
会長 大森 保



平成 24 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画（案）並びに
平成 24 年度ダイオキシン類測定計画（案）について（答申）

平成 24 年 1 月 25 日付け沖縄県諮問環第 18 号で諮問のあったみだしのこ
とについては、原案のとおり定めることが適当である。

なお、沖縄県環境審議会として、下記のことについて意見を付すこととした
ので、県はその実施の努力をしていただきたい。

記

測定結果については、わかりやすく広報し、広く活用できるようにすること。



(案)

平成24年度

公共用水域及び地下水の水質測定計画

沖 縄 県

目 次

I	目 的	1
II	公共用水域に関する事項	1～3
	別表 公共用水域水質分析方法及び環境基準値	4
	別添 生活環境の保全に関する環境基準（昭和46年12月28日環境庁告示第59号）	5～6
	別表1－1 河川の地点別測定計画表	7～10
	別表1－2 海域の地点別測定計画表	11～13
	公共用水域水質測定地点図	
	区分概要	14
	沖縄本島北部Ⅰ	15
	沖縄本島北部Ⅱ	16
	沖縄本島中部	17
	沖縄本島南部	18
	宮古島	19
	石垣島	20
	別表2－1、2－2 全亜鉛測定計画表	21～22
III	地下水に関する事項	23～24
	別表2 地下水の水質汚濁に係る環境基準について （平成9年3月環境庁告示 第10号）別表	25
	別表2－1 地下水の地点別水質測定計画表（概況調査）	26
	別表2－2 地下水の地点別水質測定計画表（継続監視調査）	27
	地下水の継続監視調査か所図	28

平成24年度公共用水域及び地下水の水質測定計画

I 目的： この測定計画は、水質汚濁防止法第16条の規定に基づき、県内の公共用水域及び地下水の水質汚濁の状況の常時監視のための測定水域、測定地点及び測定項目、その他必要な事項について定める。

II 公共用水域に関する事項

1 測定期間： 平成24年4月1日～平成25年3月31日

2 測定水域：

(1) 河川（25河川）：比謝川、国場川、満名川、福地川、漢那川、羽地大川、我部祖河川、新川川、安波川、普久川、汀間川、天願川、久茂地川、安里川、饒波川、安謝川、報得川、牧港川、辺野喜川、源河川、平南川、大保川、宮良川、名蔵川、雄樋川

(2) 海域（13海域）：中城湾、与勝海域、金武湾、那覇港、名護湾、平良港、与那覇湾、石垣港、川平湾、羽地内海、糸満海域、恩納海域、伊佐海域

3 測定地点・回数及び担当機関：

別表1-1（河川）、別表1-2（海域）に掲げるとおり。

4 測定項目：

水質汚濁にかかる環境基準について（昭和46年12月28日環境庁告示第59号）及び底質調査方法（昭和63年9月28日環水管第127号）で明示されている関係する項目とする。ここで、県内においては全窒素・全りん及び全亜鉛についての類型指定は行っていないが、状況把握のため必要箇所において測定項目とする。

【河川】

(1) 水質

①生活環境項目（6項目）

水素イオン濃度(pH)、溶存酸素量(DO)、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質(SS)、大腸菌群数、全亜鉛

②健康項目（27項目）

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン
(アルキル水銀の測定は、総水銀が検出された場合に行う。)

(2) 底質（10項目）

乾燥減量、強熱減量、COD、カドミウム、ヒ素、鉛、総水銀、アルキル水銀、PCB、六価クロム
(六価クロムとシアンは隔年で測定する。平成24年度は六価クロム)
(アルキル水銀の測定は、総水銀が検出された場合に行う。)

【海域】

(1) 水質

①生活環境項目（8項目）

水素イオン濃度(pH)、溶存酸素量(DO)、化学的酸素要求量(COD)、大腸菌群数、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、全窒素、全燐、全亜鉛

②健康項目（25項目）

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン
(アルキル水銀の測定は、総水銀が検出された場合に行う。)
(海域においてはふっ素、ほう素は環境基準を適用しないためそれを除く)

(2) 底質（10項目）

乾燥減量、強熱減量、COD、カドミウム、ヒ素、鉛、総水銀、アルキル水銀、PCB、六価クロム
(六価クロムとシアンは隔年で測定する。平成24年度は六価クロム)
(アルキル水銀の測定は、総水銀が検出された場合に行う。)

5 測定方法：

(1) 分析方法

水質については、水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）に定められた方法による。別表1に掲げるとおり。

底質については、底質調査方法（昭和63年9月8日付け環水管第127号）による。

(2) 採水要領

① 河川：採水日まで晴天が続き、比較的水質が安定している日に採水する。

感潮域にある地点については、干潮時前後とする。

採水と同時に天候、気温、水温、採取水深、透視度を記録する。

② 海域：風や雨の影響の少ない日を選び、下げ潮時に採水する。

採水と同時に天候、気温、水温、採取水深、全水深、透明度を記録する。

その他、水質調査方法（昭和46年環境庁告示第30号）による。

別表 公共用水域水質分析方法

項 目		基準値	分 析 方 法
生 活 環 境 項 目	水素イオン濃度	水質汚濁にかかる環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)の別表2 生活環境の保全に関する環境基準に掲げる基準値 ・・・<別添>を参照。	日本工業規格K0102(以下「規格」という。)12.1に定める方法又はガラス電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法
	溶存酸素量		規格32に定める方法又は隔膜電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法
	生物化学的酸素要求量		規格21に定める方法
	化学的酸素要求量		規格17に定める方法(ただし、B類型の工業用水及び水産2級のうち、リ養殖の利水点における測定方法はアルカリ性法)
	浮遊物質		昭和46年12月環境庁告示第59号(以下「告示」という。)付表8に掲げる方法
	大腸菌群数		告示別表2に掲げる最確数による定量法
	n-ヘキササン抽出物		告示付表10に掲げる方法
	全窒素		規格45.2、45.3又は45.4に定める方法
	全磷		規格46.3に定める方法
	全亜鉛		規格53に定める方法
健 康 項 目	カドミウム	0.003mg/L以下	規格55に定める方法
	全シアン	検出されないこと	規格38.1.2及び38.2に定める方法又は規格38.1.2及び38.3に定める方法
	鉛	0.01mg/L以下	規格54に定める方法
	六価クロム	0.05mg/L以下	規格65.2に定める方法
	砒素	0.01mg/L以下	規格61.2又は61.3又は61.4に定める方法
	総水銀	0.0005mg/L以下	告示付表1に掲げる方法
	アルキル水銀	検出されないこと	告示付表2に掲げる方法
	PCB	検出されないこと	告示付表3に掲げる方法
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、又は5.3.2に定める方法
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、又は5.3.2に定める方法
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
	チウラム	0.006mg/L以下	告示付表4に掲げる方法
	シマジン	0.003mg/L以下	告示付表5の第1又は第2に掲げる方法
	チオベンカルブ	0.02mg/L以下	告示付表5の第1又は第2に掲げる方法
	ベンゼン	0.01mg/L以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
	セレン	0.01mg/L以下	規格67.2、67.3又は67.4に定める方法
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10mg/L以下	硝酸性窒素にあつては規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5に定める方法 亜硝酸性窒素にあつては規格43.1に定める方法
	ふっ素	0.8mg/L以下	規格34.1に定める方法又は規格34.1(c)(注(6)第三文を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあっては、これを省略することができる。)及び付表6に掲げる方法
	ほう素	1mg/L以下	規格47.1、47.3又は47.4に定める方法
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	告示付表7に掲げる方法

- 備考
- 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
 - 2 「検出されないこと」とは、測定方法の項に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。別表2において同じ。
 - 3 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
 - 4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。

1 河川

ア

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度(pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級・自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	50MPN/100mL以下
A	水道2級・水産1級・水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100mL以下
B	水道3級・水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	5,000MPN/100mL以下
C	水産3級・工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級・農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級・環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/L以上	—

備考

- 1 基準値は、日間平均値とする(海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全:自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級:ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級:沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級:前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級:ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級:サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級:コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級:沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級:薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級:特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全:国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

イ

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下
生物特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下

備考

- 1 基準値は、年間平均値とする(海域もこれに準ずる。)

2 海域

ア

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度(pH)	化学的酸素 要求量(COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出 物質(油分等)
A	水産1級・水浴・自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100mL以下	検出されないこと。
B	水産2級・工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	3mg/L以下	5mg/L以上	—	検出されないこと。
C	環境保全	7.0以上 8.3以下	8mg/L以下	2mg/L以上	—	—

備考

- 1 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数70MPN/100mL以下とする。
- (注)1 自然環境保全:自然探勝等の環境保全
- 2 水産1級:マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用
水産2級:ボラ、ノリ等の水産生物用
- 3 環境保全:国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

イ

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びⅡ以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	0.2mg/L以下	0.02mg/L以下
Ⅱ	水産1種・水浴及びⅢ以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	0.3mg/L以下	0.03mg/L以下
Ⅲ	水産2種及びⅣ以下の欄に掲げるもの(水産3種を除く。)	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
Ⅳ	水産3種・工業用水・生物生息環境保全	1mg/L以下	0.09mg/L以下

備考

- 1 基準値は、年間平均値とする。
- 2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。
- (注)1 自然環境保全:自然探勝等の環境保全
- 2 水産1種:底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される
水産2種:一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される
水産3種:汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される
- 3 生物生息環境保全:年間を通して底生生物が生息できる限度

ウ

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L以下

別表 1-1 河川の地点別測定計画表

河川名	環境基準 類型指定 水域名	県地点 番号	統一 番号	測定地点	類型	生活環境項目			③ 健康項目		④ 底質	備考 (担当)
						① pH、DO BOD、SS 大腸菌群	C O D	② 全 重 鉛	25 項 目	F ・ B		
比謝川	比謝川(1)	1	47-001-51	長田川取水ポンプ場	(B)	6						①中部保 ②衛研 ③衛研 ④委託
		2	47-001-01	比謝川取水ポンプ場	B	12			1	1	1	
	比謝川(2)	3	47-002-01	トニー橋	C	12			1	1		
	比謝川(3)	4	47-003-01	与那原川合流点	C	12		1	1	1		
		5	47-201-02	内喜名橋	-	6						
		6-イ	47-003-55	福地橋	(C)	6						
		6-ロ	47-003-54	知花城跡下	(C)	6						
		6-ハ	47-003-56	かやま橋	(C)	6						
国場川	国場川(1)	7-ロ	47-004-01	那覇大橋	C	12			1			①中保 ②衛研 ③衛研 ④委託
	国場川(2)	8	47-005-01	真玉橋	E	12			1		0 ^{※(1)}	
		9	47-005-51	一日橋	(E)	6		1		1		
		10	47-005-52	翔南製糖前	(E)	6						
満名川	満名川(1)	25	47-006-01	渡久地橋	A	6			1		1 ^{※(2)}	①北保 ③衛研 ④委託
	満名川(2)	26	47-007-01	伊野波川合流点	A	6			1	1		
		27	47-007-51	山川酒屋前	(A)	4						
福地川	未指定	28	47-204-01	水位計設置点	-	2						委託
	福地川	29	47-008-01	福地ダム	A	12	12		1	1	1	沖総局
漢那川	漢那川	43	47-011-01	漢那ダム	A	12	12		1	1	1	沖総局
	未指定	44	47-210-01	西福橋	-	2						委託
羽地大川	未指定	45	47-207-01	河口から上流300m	-	6						①北保 ③衛研
	羽地大川	46	47-012-01	名護市取水点	A	6			1	1		
			46-イ	47-012-51	羽地ダム	(A)	12	12		1	1	1

※(1)国場川7-ロ、8及び饒波川の底質：ローリング方式で実施（H24年度）饒波川89(石火矢橋)

※(2)満名川、源河川、平南川、大保川の底質：4年間で一巡のローリング方式で実施（H24年度）満名川(1)25(渡久地橋)

(注1：項目欄の数値は〔測定回数/年〕)

(注2：類型欄の()なしは環境基準点、()付きは補助点、「-」は類型未指定。)

(注3：健康項目欄の略号は次のとおり。25項目：カドミウム他24項目、F：ふっ素、B：ほう素)

備考欄の担当(分析機関)は、次の記号で示す。

○沖総局：沖縄総合事務局 ○北保：沖縄県北部保健所 ○中部保：沖縄県中部保健所 ○南保：沖縄県南部保健所

○中保：沖縄県中央保健所 ○宮保：沖縄県宮古保健所 ○八保：沖縄県八重山保健所 ○衛研：沖縄県衛生環境研究所 ○委託：民間委託業者

別表 1-1 河川の地点別測定計画表

河川名	環境基準 類型指定 水域名	県地点 番号	統一 番号	測定地点	類型	生活環境項目			③ 健康項目		④ 底質	備考 (担当)
						① pH、DO BOD、SS 大腸菌群	C O D	② 全 垂 鉛	25 項目	F ・ B		
我部祖河川	我部祖河川(2)	47-イ	47-014-01	奈佐田川合流点から上流100m	A	12			1		1	①北保 ③衛研 ④委託
	我部祖河川(2)	47-ロ	47-206-03	呉我橋	—	6						
	我部祖河川(3)	48	47-015-01	奈佐田川合流点から支川上流100m	A	12			1	1		
	我部祖河川(2)	49	47-014-51	深田川合流点	(A)	6				1		
	我部祖河川(3)	50	47-208-02	深田川合流点から支川上流100m	—	6						
	我部祖河川(1)	51	47-013-01	石橋(山田橋)	A	12			1	1		
新川川	新川川(1)	52	47-016-01	下流の高江橋	A	6			1	1		委託
	新川川(2)	53	47-017-01	新川ダム	A	6	6		1	1	1	沖総局
安波川	安波川(1)	54	47-018-01	安波大橋	A	6			1	1		委託
	安波川(2)	55-イ	47-019-01	安波小中校後方	A	6						
		55-ロ	47-019-52	安波ダム	(A)	6	6		1	1	1	沖総局
普久川	普久川(1)	56	47-020-01	御拝橋	A	6			1	1		委託
	普久川(2)	57-イ	47-021-01	御拝橋上流420mの沢	A	6						
		57-ロ	47-021-52	普久川ダム	(A)	6	6		1	1	1	沖総局
汀間川	汀間川(1)	58	47-022-01	嘉手苜橋から上流200m	A	6			1			①北保 ③衛研
		59	47-209-01	志根垣川	—	6						
	汀間川(2)	60	47-023-01	三原小中学校前堰堤上流50mの橋	A	6			1	1		
天願川	天願川(1)	73	47-009-01	河口(港原橋)	B	12		1	1		1	①中部保 ②衛研 ③衛研 ④委託
		74	47-203-01	合流点からヌーリ川100m(ソーガー橋)	—	6						
		75-ロ	47-009-51	天願橋	(B)	6					1	
	天願川(2)	76-ロ	47-010-51	川崎川取水ポンプ場	(B)	6						
		77	47-010-01	合流点下流100m(御山ぬ橋)	B	12			1	1		
		78-イ	47-010-55	ルーシー河橋	(B)	6						
		78-ロ	47-010-52	しむら橋	(B)	6						
		79	47-205-02	米原橋	—	6						
		80	47-010-54	復興橋	(B)	6						

(注 1: 項目欄の数値は[測定回数/年])

(注 2: 類型欄の()なしは環境基準点、()付きは補助点、「—」は類型未指定。)

(注 3: 健康項目欄の略号は次のとおり。25項目: カドミウム他24項目、F: ふっ素、B: ほう素)

備考欄の担当(分析機関)は、次の記号で示す。

○沖総局: 沖縄総合事務局 ○北保: 沖縄県北部保健所 ○中部保: 沖縄県中部保健所 ○南保: 沖縄県南部保健所

○中保: 沖縄県中央保健所 ○宮保: 沖縄県宮古保健所 ○八保: 沖縄県八重山保健所 ○衛研: 沖縄県衛生環境研究所 ○委託: 民間委託業者

別表 1-1 河川の地点別測定計画表

河川名	環境基準 類型指定 水域名	県地点 番号	統一 番号	測定地点	類型	生活環境項目			③健康項目		④底質	備考 (担当)
						① pH、DO BOD、SS 大腸菌群	C O D	② 全 垂 鉛	25 項目	F ・ B		
久茂地川	久茂地川	81	47-024-01	泉崎橋	C	6			1		1※(3)	①中保 ③衛研 ④委託
		82	47-024-51	久茂地橋	(C)	4						
		83	47-024-52	四条橋	(C)	6				1		
安里川	安里川	84	47-025-51	中之橋	(D)	4						①中保 ③衛研 ④委託
		85	47-025-01	安里新橋	D	6			1			
		86	47-025-52	大道練兵橋	(D)	6				1		
		87	47-025-53	寒川橋	(D)	4						
		88	47-025-54	宝口樋川下流10m	(D)	6						
饒波川	饒波川	89	47-030-01	石火矢橋	D	12		1	1		1※(1)	①中保 ②衛研 ③衛研 ④委託
		90	47-030-51	高安橋	(D)	6				1		
		91	47-030-52	友寄橋	(D)	6						
安謝川	安謝川	92	47-026-01	安謝橋	C	6			1		0※(3)	①中保 ③衛研 ④委託
		93	47-026-51	宇久増橋	(C)	6				1		
		94	47-026-52	末吉新橋	(C)	4						
		95	47-026-53	昭和橋	(C)	6						
報得川	報得川	96	47-027-51	川尻橋	(E)	6					1※(5)	①南保 ③衛研 ④委託
		97	47-027-01	水位計設置点	E	12			1	1		
		98	47-027-52	西原川合流点	(E)	6						
牧港川	牧港川	99	47-028-51	国道58号線から下流150m	(C)	6					1	①中保 ②衛研 ③衛研 ④委託
		100	47-028-01	境橋上流50m	C	12		1	1	1		
		101	47-028-52	勢理橋	(C)	6						
		102	47-028-02	大謝名橋上流200m	C	12			1	1		
		103	47-028-53	真栄原橋	(C)	6						
辺野喜川	辺野喜川	113	47-029-01	辺野喜橋	A	6			1	1		委託
		114	47-029-51	水位計設置点	(A)	4						
		115	47-029-53	ダム中央	(A)	12	12		1	1	1	沖総局

※(1)国場川7-口、8及び饒波川の底質：ローリング方式で実施（H24年度）饒波川89(石火矢橋)

※(3)久茂地川、安里川及び安謝川の底質：ローリング方式で実施（H24年度）久茂地川81(泉崎橋)

※(5)報得川及び雄樋川の底質：ローリング方式で実施（H24年度）報得川96(川尻橋)

(注1: 項目欄の数値は〔測定回数/年〕)

(注2: 類型欄の()なしは環境基準点、()付きは補助点、「-」は類型未指定。)

(注3: 健康項目欄の略号は次のとおり。25項目: カドミウム他24項目、F: ふっ素、B: ほう素)

備考欄の担当(分析機関)は、次の記号で示す。

○沖総局: 沖縄総合事務局 ○北保: 沖縄県北部保健所 ○中部保: 沖縄県中部保健所 ○南保: 沖縄県南部保健所

○中保: 沖縄県中央保健所 ○宮保: 沖縄県宮古保健所 ○八保: 沖縄県八重山保健所 ○衛研: 沖縄県衛生環境研究所 ○委託: 民間委託業者

別表 1-1 河川の地点別測定計画表

河川名	環境基準 類型指定 水域名	県地点 番号	統一 番号	測定地点	類型	生活環境項目			③ 健康項目		④ 底質	備 考 (担当)
						① pH、DO BOD、SS 大腸菌群	C O D	② 全 垂 鉛	25 項 目	F ・ B		
源 河 川	源 河 川	123	47-031-51	走川橋	(A)	4						①北保 ③衛研 ④委託
		124	47-031-52	合流点手前	(A)	4						
		125	47-031-53	おおせ橋	(A)	4						
		126	47-031-01	取水橋	A	6			1	1		
平 南 川	平 南 川	127	47-032-01	アザ力橋下流30m	A	6			1	1		①北保 ③衛研 ④委託
		128	47-032-51	水源地下流200m	(A)	4						
大 保 川	大 保 川	129	47-033-01	田港橋	A	6			1	1	0 ^{※(2)}	①北保 ③衛研 ④委託
		130	47-033-51	大工又橋	(A)	6						
		161	47-033-52	大保ダム	(A)	12	12		2	2	1	沖総局
宮 良 川	宮 良 川	131	47-034-51	宮良橋	(A)	6					0 ^{※(4)}	①八保 ②衛研 ③衛研 ④委託
		132	47-034-01	平喜名橋	A	12		1	1	1		
		133	47-034-52	山田橋	(A)	6						
		134	47-034-53	振興橋	(A)	6						
名 蔵 川	名 蔵 川	135	47-035-51	名蔵大橋	(A)	6					1 ^{※(4)}	①八保 ②衛研 ③衛研 ④委託
		136	47-035-01	石糖取水場前	A	12			1	1		
雄 樋 川	雄 樋 川	137	47-036-51	堀川橋	(D)	6						①南保 ②衛研 ③衛研 ④委託
		138	47-036-01	前川(前川橋)	D	12			1	1	0 ^{※(5)}	
		139	47-036-02	石川橋	D	12		1	1	1		

※(2)満名川、源河川、平南川、大保川の底質：4年間で一巡のローリング方式で実施（H24年度）満名川(1)25(渡久地橋)

※(4)宮良川及び名蔵川の底質：ローリング方式で実施（H24年度）名蔵川135(名蔵大橋)

※(5)報得川及び雄樋川の底質：ローリング方式で実施（H24年度）報得川96(川尻橋)

(注 1：項目欄の数値は〔測定回数／年〕)

(注 2：類型欄の()なしは環境基準点、()付きは補助点、「-」は類型未指定。)

(注 3：健康項目欄の略号は次のとおり。25項目：カドミウム他24項目、F：ふっ素、B：ほう素)

備考欄の担当(分析機関)は、次の記号で示す。

○沖総局：沖縄総合事務局 ○北保：沖縄県北部保健所 ○中部保：沖縄県中部保健所 ○南保：沖縄県南部保健所

○中保：沖縄県中央保健所 ○宮保：沖縄県宮古保健所 ○八保：沖縄県八重山保健所 ○衛研：沖縄県衛生環境研究所 ○委託：民間委託業者

別表 1-2 海域の地点別測定計画表

海域名	環境基準 類型指定 水域名	県地点 番号	統一 番号	測定地点	類型	生活環境項目			④ 健康項目	⑤ 底質	備考 (担当)
						① pH、COD DO、 n^{-} ヘ キ 大腸菌群	② N ・ P	③ 全亜鉛			
中城湾	中城湾	11-イ	47-601-51	兼久地先	(A)	4					①南保 ②衛研 ③衛研 ④衛研 ⑤委託
		11-ロ	47-601-01	当添海岸	A	6	2				
		12-イ	47-601-59	与那原海岸	(A)	4					
		12-ロ	47-601-52	湾内1	(A)	4		1			
		13	47-601-02	湾内2	A	6	2	1	1	1	
		14	47-601-57	泡瀬地先	(A)	4					
		15	47-601-03	湾内3	A	6	2				
与勝海域	与勝海域	16	47-602-01	埋立地西海岸	A	6			1		①中部保 ④衛研 ⑤委託
		17	47-602-54	伊計島西海域	(A)	4					
		18	47-602-53	伊計島東海域	(A)	4					
		19-イ	47-602-52	宮城島東海域	(A)	4					
		19-ロ	47-602-55	浜比嘉島西海域	(A)	4					
金武湾	金武湾	20-イ	47-603-58	海中道路西海域	(A)	6	6				①中部保 ②衛研 ③衛研 ④衛研 ⑤委託
		20-ロ	47-603-01	天願川河口地先	A	6	6	1	1	0※(6)	
		21-ロ	47-603-02	石川ビーチ沖	A	6	6	1		1※(6)	
		22	47-603-54	伊芸海岸	(A)	6	6				
		23	47-603-56	湾中央部	(A)	6	6				
		24	47-603-03	湾口中央	A	6	6				
那覇港海域	那覇港海域	31	47-604-01	那覇港沖	A	6	2				①中保 ②衛研 ③衛研 ④衛研 ⑤委託
		32-イ	47-604-54	那覇港入口	(A)	6	2				
		33	47-604-02	那覇港内	A	12	2	1	1	1※(7)	
		34	47-604-03	那覇新港入口	A	12	2			0※(7)	
		35	47-604-04	泊港内	A	12	2				
		36	47-604-05	自謝加瀬東	A	6	2				
		38	47-701-04	安謝河口沖	-	6	2				

※(6)与勝海域、金武湾の20-ロ及び21-ロの底質：ローリング方式で実施(H24年度)金武湾21-ロ(石川ビーチ沖)

※(7)県地点番号33及び34の底質：ローリング方式で実施 (H24年度)那覇港海域33(那覇港内)

(注 1: 項目欄の数値は[測定回数/年])

(注 2: 類型欄の()なしは環境基準点、()付きは補助点、「-」は類型未指定。)

(注 3: 生活環境項目の②について、Nは全窒素、Pは全りん。)

(注 4: 健康項目欄の略号は次のとおり。25項目:カドミウム他「ふっ素」と「ほう素」を除く24項目)

備考欄の担当(分析機関)は、次の記号で示す。

○沖総局: 沖縄総合事務局 ○北保: 沖縄県北部保健所 ○中部保: 沖縄県中部保健所 ○南保: 沖縄県南部保健所

○中保: 沖縄県中央保健所 ○宮保: 沖縄県宮古保健所 ○八保: 沖縄県八重山保健所 ○衛研: 沖縄県衛生環境研究所 ○委託: 民間委託業者

別表 1-2 海域の地点別測定計画表

海域名	環境基準 類型指定 水域名	県地点 番号	統一 番号	測定地点	類型	生活環境項目			④ 健康 項目	⑤ 底質	備 考 (担当)
						① pH、COD DO、n-ヘキ 大腸菌群	② N ・ P	③ 全 亜 鉛			
名護湾	名護湾	39	47-605-51	部瀬名岬	(A)	4					委託
		40	47-605-01	名護海岸	A	6	2		1	1	
		41	47-605-02	湾内	A	6	2				
		42	47-605-03	部間海岸	A	6	2				
平良港	平良港	61-イ	47-606-51	大浦地先	(A)	4					①宮保 ④衛研 ⑤委託
		61-ロ	47-606-52	下崎地先	(A)	4					
		62-ハ	47-606-01	第3埠頭北端から北へ300m	A	6			1	1※(8)	
		63	47-606-55	パイナガマ海水浴場前海域	(A)	4					
与那覇湾	与那覇湾	64	47-702-01	松原地先	-	6	6				①宮保 ②衛研 ④衛研 ⑤委託
		65-イ	47-702-02	沖縄製糖旧さん橋北端	-	6	6		1	0※(8)	
		65-ロ	47-702-03	与那覇地先	-	6	6				
石垣港	石垣港	66	47-607-51	真栄里海岸	(A)	4					①八保 ④衛研 ⑤委託
		67	47-607-52	ホーパークラフトのりば跡	(A)	4					
		68-イ	47-607-02	浜崎地区南埠頭埋立予定地から西へ300m	A	6			1	1※(9)	
		69-ロ	47-607-54	石垣新川川河口	(A)	4					
		69-ハ	47-607-55	児童公園前	(A)	4					
川平湾	川平湾	70	47-608-51	湾口	(A)	4					①八保 ②衛研 ④衛研 ⑤委託
		71	47-608-01	小島南先端と双葉地先を結ぶ線上の中心点	A	6	2		1		
		72	47-608-52	湾奥	(A)	4				0※(9)	
羽地内海	羽地内海(1)	104	47-609-01	仲尾次漁港西埠頭から北西100m	B	6	6			1※(10)	委託
		106	47-609-02	呉我船揚場から北400m	B	6	6	1	1	0※(10)	
	羽地内海(2)	108	47-610-01	羽地内海中央	A	6	6		1		
		109	47-610-51	屋我地大橋	(A)	4	4				
		110	47-610-52	佐我屋島東	(A)	4	4				
		111	47-610-02	内海北水路南端	A	6	6				
		112	47-610-53	運天港	(A)	4	4				

※(8)平良港及び与那覇湾の底質：ローリング方式で実施（H24年度）平良港62-ハ(第3埠頭北端から北へ300m)

※(9)石垣港及び川平湾の底質：ローリング方式で実施（H24年度）石垣港68-イ(浜崎地区南埠頭埋立予定地から西へ300m)

※(10)県地点番号104及び106の底質：ローリング方式で実施（H24年度）羽地内海(1)104(仲尾次漁港西埠頭から北西100m)

(注 1: 項目欄の数値は〔測定回数/年〕)

(注 2: 類型欄の()なしは環境基準点、()付きは補助点、「-」は類型未指定。)

(注 3: 生活環境項目の②について、Nは全窒素、Pは全りん。)

(注 4: 健康項目欄の略号は次のとおり。25項目: カドミウム他「ふっ素」と「ほう素」を除く24項目)

備考欄の担当(分析機関)は、次の記号で示す。

○沖総局: 沖縄総合事務局 ○北保: 沖縄県北部保健所 ○中部保: 沖縄県中部保健所 ○南保: 沖縄県南部保健所

○中保: 沖縄県中央保健所 ○宮保: 沖縄県宮古保健所 ○八保: 沖縄県八重山保健所 ○衛研: 沖縄県衛生環境研究所 ○委託: 民間委託業者

別表 1-2 海域の地点別測定計画表

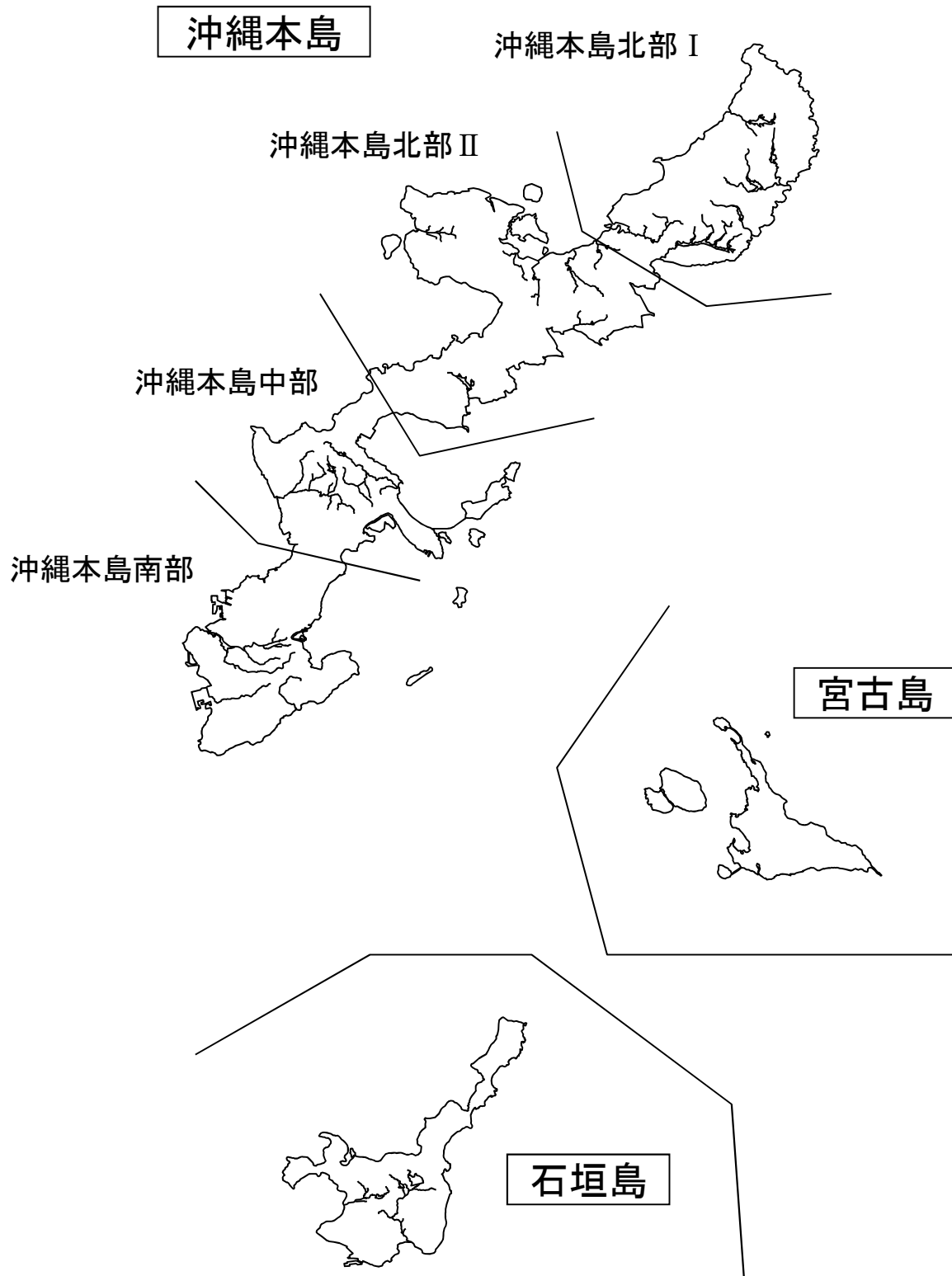
海域名	環境基準 類型指定 水域名	県地点 番号	統一 番号	測定地点	類型	生活環境項目			④ 健康 項目	⑤ 底質	備 考 (担当)
						① pH、COD DO、n-ヘキ 大腸菌群	② N ・ P	③ 全 亜 鉛			
糸満 海域	糸満海域	116	47-611-51	北名城	(A)	4					委託
		117	47-611-01	糸満漁港	A	6			1	1	
		118	47-611-52	潮平地先	(A)	4					
		120	47-611-02	糸満漁港沖	A	6					
		121	47-611-03	岡波岩東	A	6					
		122	47-611-55	糸満漁港南	(A)	4					
恩納 海域	恩納海域	140	47-612-01	伊武部海岸地先	A	6				0※(11)	委託
		141	47-612-51	安富祖海岸地先	(A)	4					
		142	47-612-02	恩納漁港地先	A	6			1	1※(11)	
		143	47-612-52	屋嘉田海岸地先	(A)	4					
		144	47-612-53	谷茶地先	(A)	4					
		145	47-612-03	富着海岸地先	A	6					
		146	47-612-54	仲泊海岸地先	(A)	4					
147	47-612-04	長浜海岸地先	A	6							
伊佐 海域	伊佐海域	151	47-704-01	残波岬南	-	2					委託
		152	47-704-02	比謝川河口北	-	2					
		153	47-704-03	比謝川河口南	-	2				1※(12)	
		154	47-704-04	水釜地先	-	2					
		155	47-704-05	砂辺地先	-	2			1		
		156	47-704-06	白比川地先	-	2					
		157	47-704-07	大山地先	-	2					
		158	47-704-08	沖電地先	-	2				0※(12)	
		159	47-704-09	港川地先	-	2					
		160	47-704-10	キャンプキンザー地先	-	2					

※(11)県地点番号140、142、145、147の4地点の底質：4年間で一巡のローリング方式で実施（H24年度）恩納海域142(恩納漁港地先)
 ※(12)県地点番号153、155、157、158の4地点の底質：4年間で一巡のローリング方式で実施（H24年度）伊佐海域153(比謝川河口南)

(注 1: 項目欄の数値は〔測定回数／年〕)
 (注 2: 類型欄の()なしは環境基準点、()付きは補助点、「-」は類型未指定。)
 (注 3: 生活環境項目の②について、Nは全窒素、Pは全りん。)
 (注 4: 健康項目欄の略号は次のとおり。25項目：カドミウム他「ふっ素」と「ほう素」を除く24項目)
 備考欄の担当(分析機関)は、次の記号で示す。

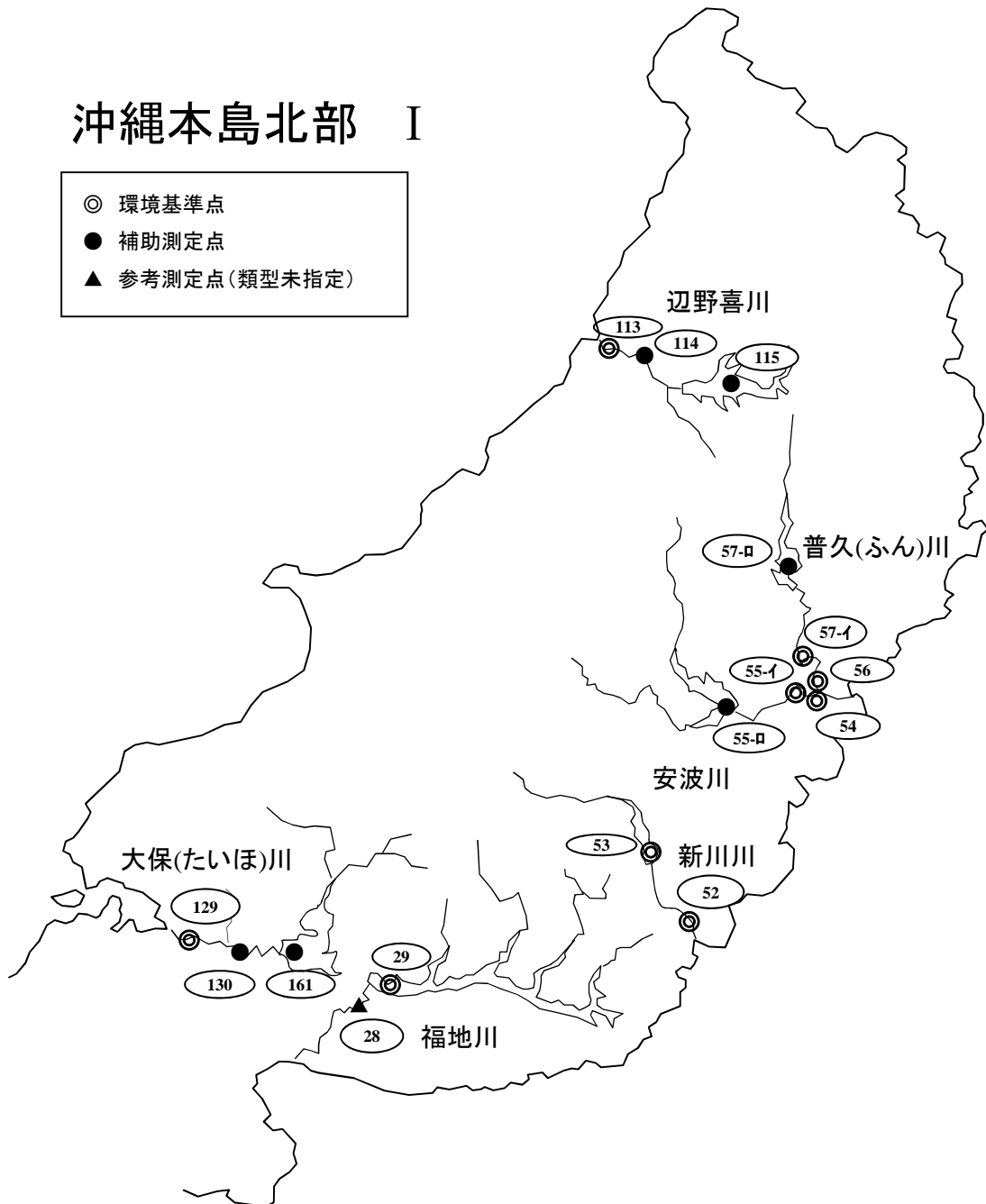
○沖総局: 沖縄総合事務局 ○北保: 沖縄県北部保健所 ○中部保: 沖縄県中部保健所 ○南保: 沖縄県南部保健所
 ○中保: 沖縄県中央保健所 ○宮保: 沖縄県宮古保健所 ○八保: 沖縄県八重山保健所 ○衛研: 沖縄県衛生環境研究所 ○委託: 民間委託業者

公共用水域採水地点図



<公共用水域水質測定地点図>

沖縄本島北部 I



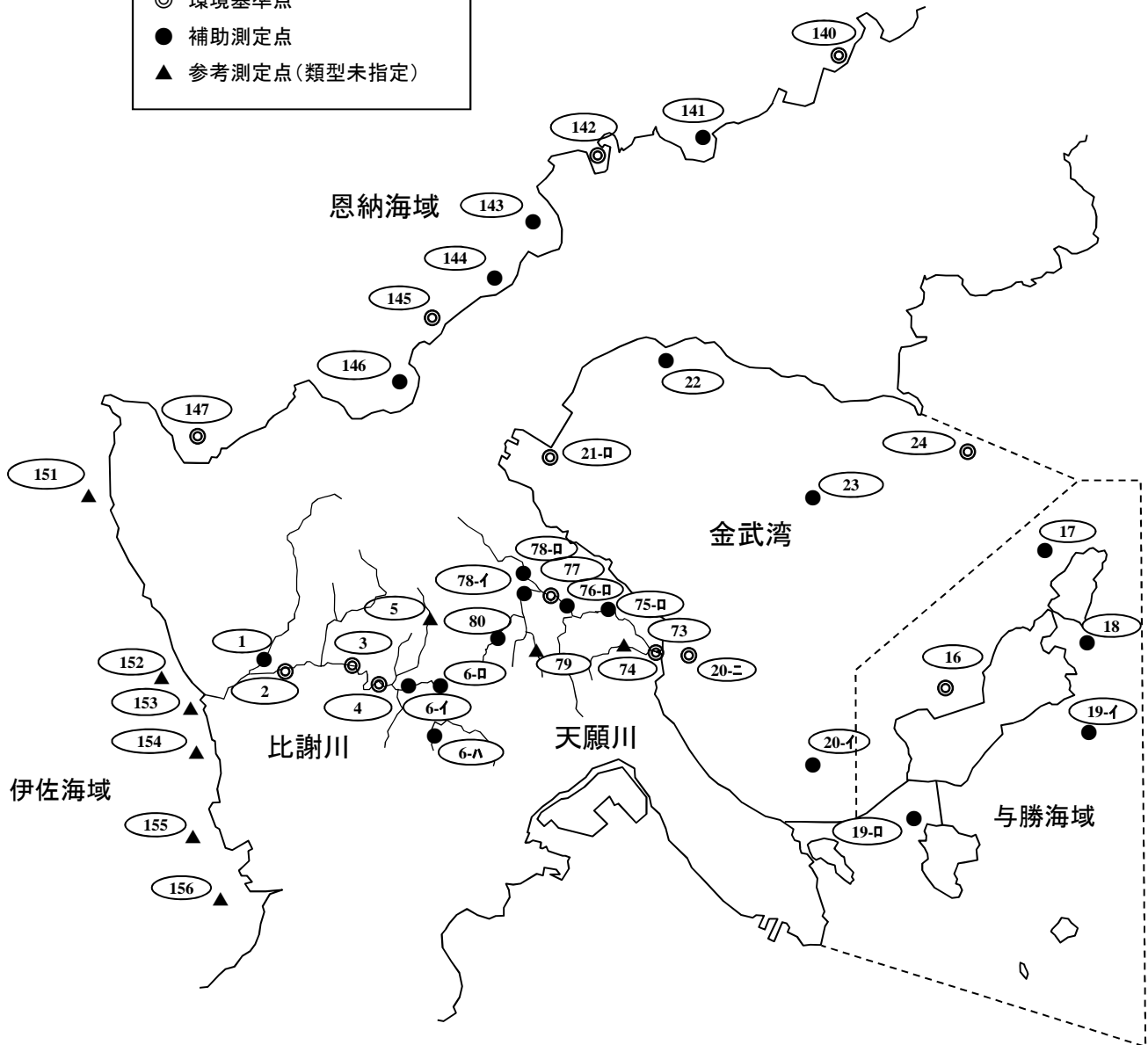
沖縄本島北部 II

- ◎ 環境基準点
- 補助測定点
- ▲ 参考測定点(類型未指定)



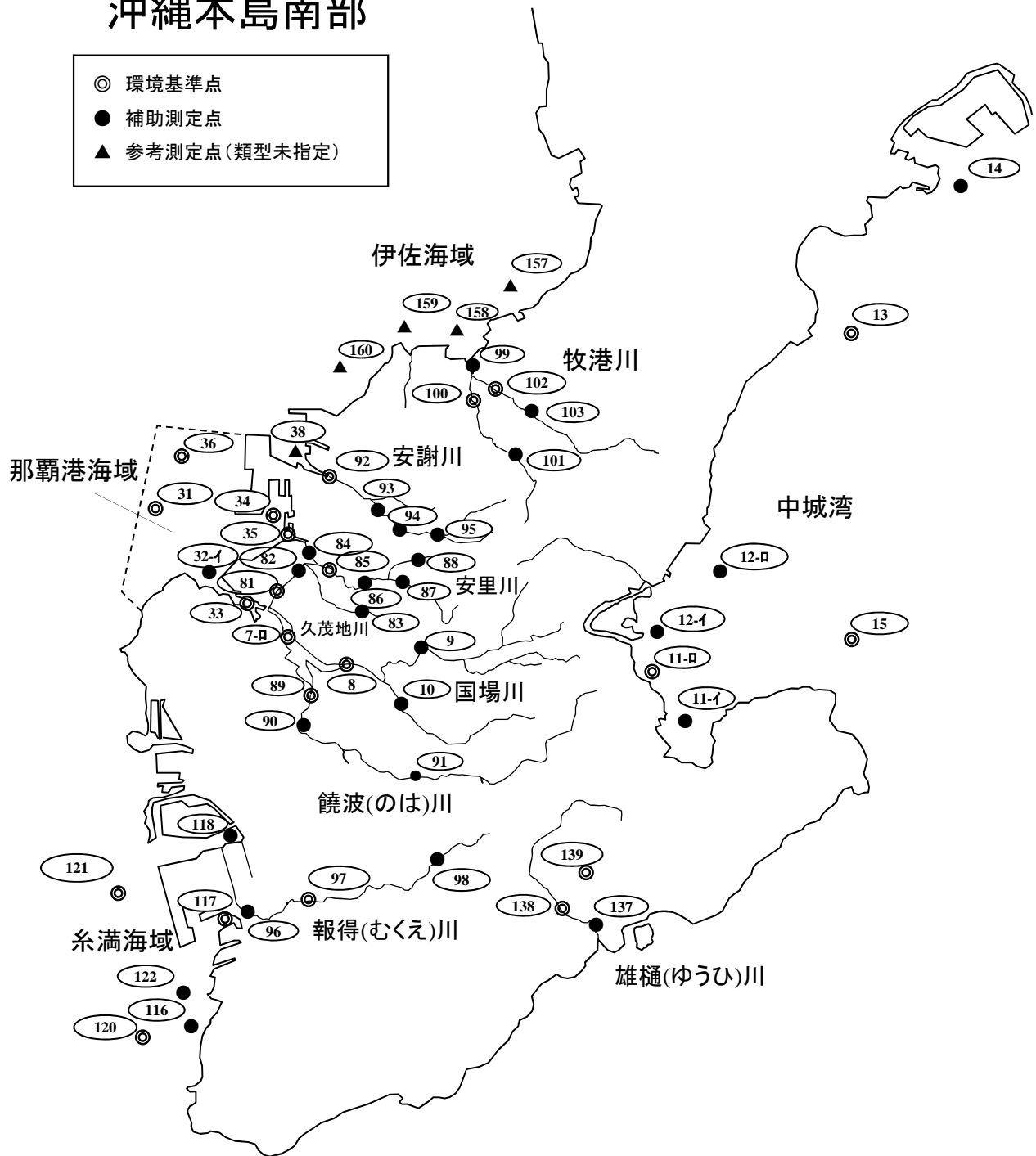
沖縄本島中部

- ◎ 環境基準点
- 補助測定点
- ▲ 参考測定点(類型未指定)



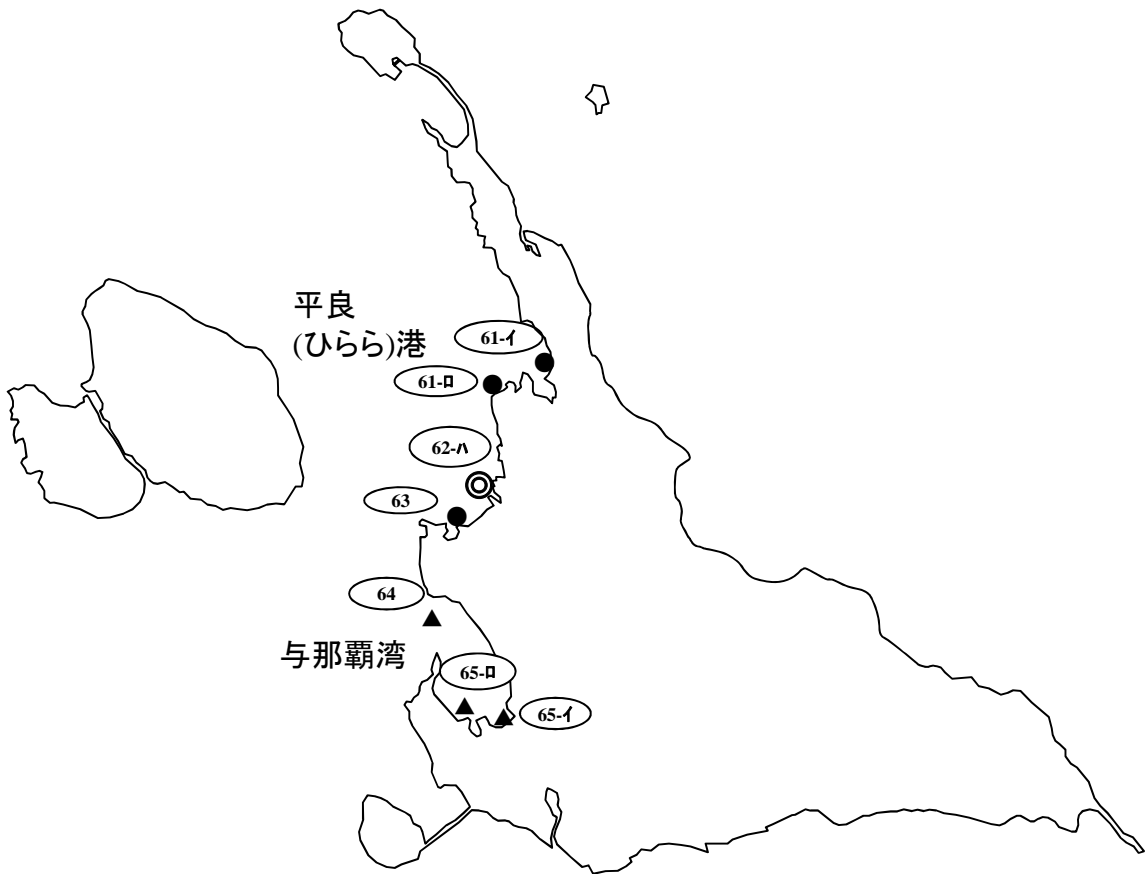
沖縄本島南部

- ◎ 環境基準点
- 補助測定点
- ▲ 参考測定点(類型未指定)



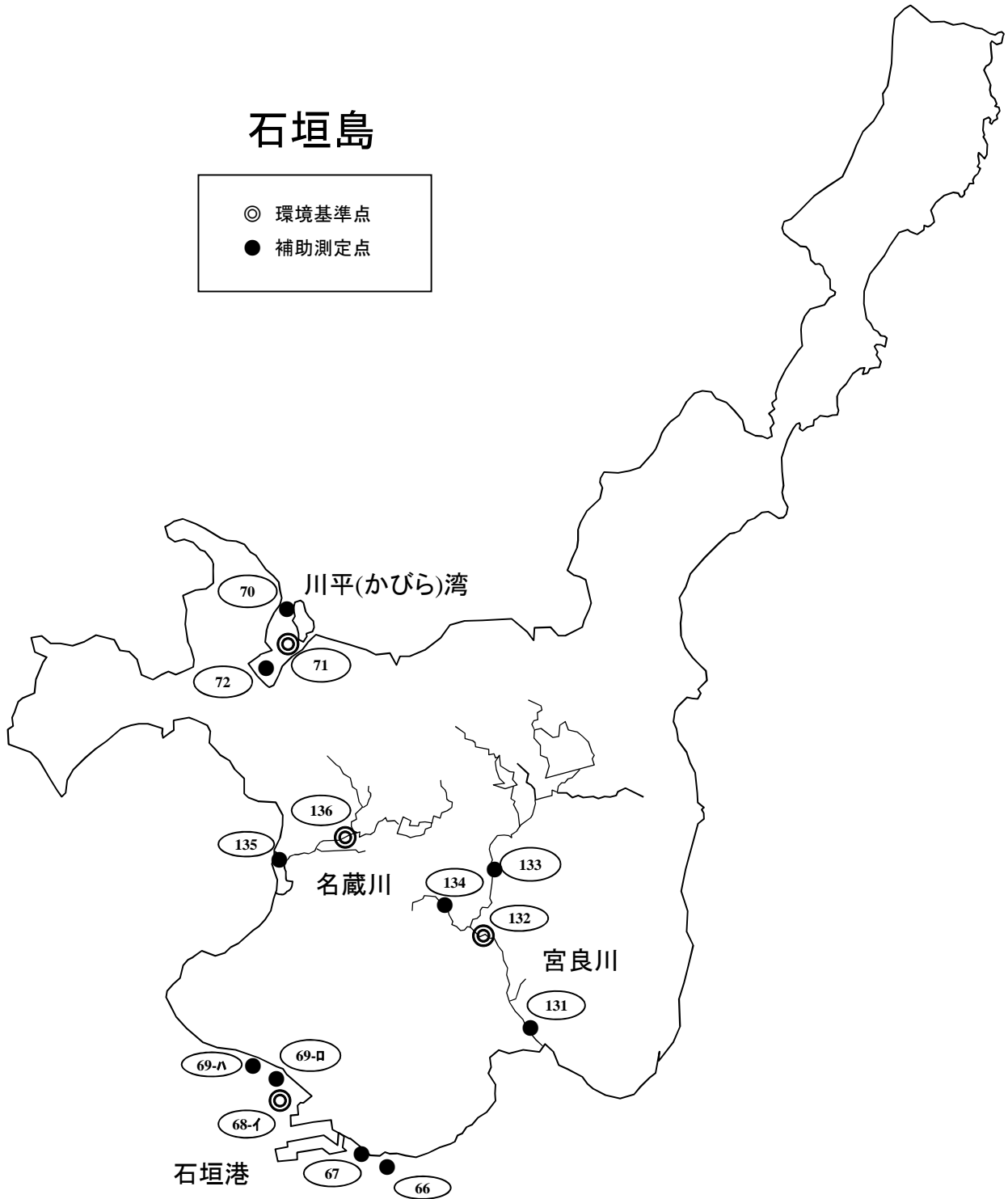
宮古島

- ◎ 環境基準点
- 補助測定点
- ▲ 参考測定点(類型未指定)



石垣島

- ◎ 環境基準点
- 補助測定点



「全亜鉛」測定結果及び測定計画

別表2-1 河川

水域名	地点番号	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度測定結果 (速報値)	H24年度 (案)
国場川	7-口	0.006				0.006		<0.003		
国場川	8	0.022		0.007	0.009			0.003		
国場川	10	0.012		0.004	0.03			0.003		
国場川	9			0.013	0.011				0.010	●
安謝川	92	0.009		0.008	0.001					
安里川	85		0.003			0.009				
久茂地川	81		<0.002				0.006			
牧港川	100		<0.002				0.016		0.017	●
牧港川	102		0.002			0.006				
比謝川	2	0.008		0.005	0.025			<0.003		
比謝川	3	0.009			0.025			<0.003		
比謝川	4	0.009			0.031			0.003	0.023	●
天願川	73		<0.002				0.012		0.006	●
天願川	77		<0.002				0.009			
満名川	25	0.021		0.007	0.002					
満名川	26	0.007				<0.003				
羽地大川	46		<0.002				<0.003			
我部祖河川	47-イ	0.010		0.010	<0.001			0.005		
我部祖河川	48	0.007		<0.001			0.004			
我部祖河川	51	0.021		0.003	<0.001			<0.003		
汀間川	58		0.007			<0.003				
汀間川	60		<0.002				<0.003			
源河川	126		<0.002				<0.003			
平南川	127		0.019	<0.001		<0.003				
大保川	129		<0.002			<0.003				
報得川	97		0.016	0.015	0.008					
雄樋川	139	0.006				0.013			0.006	●
雄樋川	138	0.005		0.004	0.001					
饒波川	89		<0.002				0.014		0.006	●
宮良川	132	0.009		0.005	0.016			<0.003		●
名蔵川	136	0.010		0.006	<0.001					
福地川	29	<0.005		0.003	<0.001					
漢那川	43	<0.01		0.006	0.003					
新川川	53	<0.005		0.004		0.006				
新川川	52	<0.001				<0.005				
安波川	54	0.012		0.005	<0.001					
安波川	55-イ	0.010				<0.005				
普久川	56	0.014		0.008	<0.001					
普久川	57-イ	0.003				<0.005				
辺野喜川	113	<0.001					<0.005			

計24カ所 計14カ所 計19カ所 計18カ所 計12カ所 計10カ所 計8カ所 計7カ所 計7カ所

- ・H16、17年度で基準点全地点を実施。H18年度はその結果をもとにモニタリングを継続した。
- ・測定値に変動が見られたため、H19年度以降については、H21年度までの3年計画で計40地点の再調査を実施した。
- ・平成22年度以降については、引き続き測定を行う。

○県内においては「亜鉛」に関する水域の類型指定は行っていない。

<参考>環境基準 生物A・B、生物特A・B 全て(0.03mg/L以下)

「全亜鉛」測定結果及び測定計画

別表2-2 海域

水域名	地点番号	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度測定結果 (速報値)	H24年度 (案)
中城湾	12-口	0.003		0.001	0.008			0.01	0.004	●
	13	<0.003			0.013			0.043	<0.003	●
	11-口		<0.002			<0.003				
	15		<0.002			0.003				
金武湾	20-二	<0.003				0.007		<0.003	<0.003	●
	21-口		<0.002			0.008		<0.003	<0.003	●
	24		0.002		0.004					
与勝海域	16	0.003		0.01	<0.001			<0.003		
那覇港 海域	31		<0.002		0.002					
	33	0.004		0.002	0.002			0.013	<0.003	●
	34		<0.002			<0.003				
	35		<0.002			0.004				
	36		<0.002			0.003				
平良港	62-ハ	<0.003					0.004			
与那覇湾	65-イ			<0.001		0.003				
石垣港	68-イ	<0.003				<0.003				
川平湾	71	<0.003					<0.003			
名護湾	40	<0.001		<0.001		<0.005				
	41	<0.001				<0.005				
	42	<0.001				<0.005				
羽地内海	104	<0.001					<0.005			
	106	<0.001					0.009	<0.005	<0.005	●
	108	<0.001					<0.005			
	111	<0.001					<0.005			
	112			0.004	<0.005					
恩納海域	140	<0.001					<0.005			
	142	<0.001		<0.001			<0.005			
	145	<0.001					<0.005			
	147	<0.001					<0.005			
糸満海域	117	0.008		0.004	<0.005					
	120	0.004			<0.005					
	121	0.004			<0.005					
伊佐海域	153			0.003	<0.005					

計22カ所 計8カ所 計9カ所 計11カ所 計12カ所 計10カ所 計7カ所 計6カ所 計6カ所

- ・H16、17年度で基準点全地点を実施。H18年度はその結果をもとにモニタリングを継続。
- ・測定値に変動が見られたため、H19年度以降については、H21年度までの3年計画で計33地点の再調査を実施した。
- ・平成22年度以降については、引き続き測定を行う。

○県内においては「亜鉛」に関する水域の類型指定は行っていない。

<参考>環境基準 生物特A(0.01mg/L)、生物A(0.02mg/L)

Ⅲ 地下水に関する事項

1 調査の種類

- (1) 概況調査：地域の全体的な地下水質の状況を把握するための調査。
- (2) 継続監視調査：汚染地域について継続的な監視を行うための調査。

2 調査実施機関：沖縄県

3 測定期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

4 測定地点及び測定頻度

- (1) 概況調査：調査対象市町村（別表2-1）において、利水状況や汚染の可能性を勘案した上で測定地点を選定し、年1回測定する。
- (2) 継続監視調査：別表2-2に掲げる地点（読谷村楚辺の地点を除く）において年1回測定し、読谷村楚辺の地点については年2回測定する。

5 測定項目

地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年環境庁告示第10号）別表に掲げる項目

- (1) 概況調査：環境基準項目28項目について測定。

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジソン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン

（アルキル水銀の測定は、総水銀が検出された場合に行う。）

- (2) 継続監視調査：周辺で汚染が判明している項目について測定。別表2-2に掲げるとおり。

6 測定方法

(1) 分析方法

環境基準項目は、地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年環境庁告示第10号）別表の測定方法の欄に掲げる方法（別表2）による。

(2) 採水要領

- ・概況調査及び年1回測定 of 継続監視調査地点は夏季（7月～9月）の晴天が続き比較的水質が安定している日に、年2回測定 of 継続監視調査地点（読谷村楚辺1地点）については夏季（7月～9月）と冬季（12月～2月）の晴天が続き比較的水質が安定している日に採水する。
- ・採水と同時に井戸の諸元（深度、用途等）、気温、水温、pH、電気伝導率（EC）について記録する。

(3) その他：地下水質調査方法（平成元年環水管第189号）による。

7 継続監視調査の終了の判断基準

- ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については、過去5年間連続して環境基準を満たしている地点について周辺調査を実施し、全ての地点で環境基準を満たしていることを確認した上で、地域の実情を勘案し総合的に判断する。
- ・その他の項目については、過去5年間連続して不検出又は環境基準1/2以下の地点について周辺調査を実施し、全ての地点で不検出又は環境基準1/2以下であることを確認した上で、地域の実情を勘案し総合的に判断する。ただし、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、塩化ビニルモノマーの4項目については、4項目すべて継続監視調査及び周辺調査で不検出又は環境基準1/10以下であることを確認した上で、地域の実情を勘案し総合的に判断する。

別表 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月 環境庁告示第10号)別表

項目	基準値	測定方法
カドミウム	0.01mg/ℓ以下	日本工業規格(以下「規格」という。)K0102の55に定める方法
全シアン	検出されないこと	規格K0102の38.1.2及び38.2に定める方法又は規格K0102の38.1.2及び38.3に定める方法
鉛	0.01mg/ℓ以下	規格K0102の54に定める方法
六価クロム	0.05mg/ℓ以下	規格K0102の65.2に定める方法
砒素	0.01mg/ℓ以下	規格K0102の61.2又は61.3又は61.4に定める方法
総水銀	0.0005mg/ℓ以下	昭和46年12月環境庁告示第59号(水質汚濁に係る環境基準について)(以下「公共用水域告示」という。)付表1に掲げる方法
アルキル水銀	検出されないこと	公共用水域告示付表2に掲げる方法
PCB	検出されないこと	公共用水域告示付表3に掲げる方法
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
塩化ビニルモノマー	0.002mg/ℓ以下	付表に掲げる方法
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1, 1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下	シス体にあつては規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法、トランス体にあつては、規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	0.006mg/ℓ以下	公共用水域告示付表4に掲げる方法
シマジン	0.003mg/ℓ以下	公共用水域告示付表5の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下	公共用水域告示付表5の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	0.01mg/ℓ以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	0.01mg/ℓ以下	規格K0102の67.2、67.3又は67.4に定める方法
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10mg/ℓ以下	硝酸性窒素にあつては規格K0102の43.2.1、43.2.3又は43.2.5に定める方法、亜硝酸性窒素にあつては規格K0102の43.1に定める方法
ふっ素	0.8mg/ℓ以下	規格K0102の34.1に定める方法又は公共用水域告示付表6に掲げる方法
ほう素	1mg/ℓ以下	規格K0102の47.1、47.3又は47.4に定める方法
1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下	公共用水域告示付表7に掲げる方法
備考		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。 2. 「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。 3. 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格K0102の43.2.1、43.2.3又は43.2.5により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格K0102の43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。 4. 1, 2-ジクロロエチレンの濃度は、規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2により測定されたシス体の濃度と規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1により測定されたトランス体の濃度の和とする。 		

別表 2 - 1 地下水の地点別水質測定計画表（概況調査）

市町村名	地点数	測定項目（1回／年）
大宜味村	1	p H、E C、環境基準項目
東村	1	p H、E C、環境基準項目
今帰仁村	1	p H、E C、環境基準項目
本部町	1	p H、E C、環境基準項目
国頭村	1	p H、E C、環境基準項目
宮古島市	1	p H、E C、環境基準項目
多良間村	1	p H、E C、環境基準項目

*E C：電気伝導率

*環境基準項目

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、
 四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、
 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、
 シマジン、チウラム、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、
 ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン

別表 2 - 2 地下水の地点別水質測定計画表（継続監視調査）

測定地点			測定項目（1回/年）
市町村	地区	種別	
浦添市	屋富祖	井戸	pH、EC、砒素
	当山	井戸	pH、EC、砒素
豊見城市	高嶺	湧水	pH、EC、塩化ビニルモノマー、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン
沖縄市	登川	井戸	pH、EC、総水銀（アルキル水銀）
	知花	井戸	pH、EC、総水銀（アルキル水銀）
	与儀	井戸	pH、EC、砒素
西原町	小那覇	井戸	pH、EC、塩化ビニルモノマー、1, 2-ジクロロエタン
北谷町	桑江	井戸	pH、EC、砒素
嘉手納町	屋良	湧水	pH、EC、塩化ビニルモノマー、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン
読谷村	楚辺	井戸	pH、EC、砒素、ほう素
うるま市	石川石川	井戸	pH、EC、砒素
	石川嘉手苺	井戸	pH、EC、総水銀（アルキル水銀）
	与那城屋慶名	井戸	pH、EC、砒素
恩納村	谷茶	井戸	pH、EC、砒素
宮古島市	伊良部字仲地	井戸	pH、EC、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
石垣市	登野城	井戸	pH、EC、塩化ビニルモノマー、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン

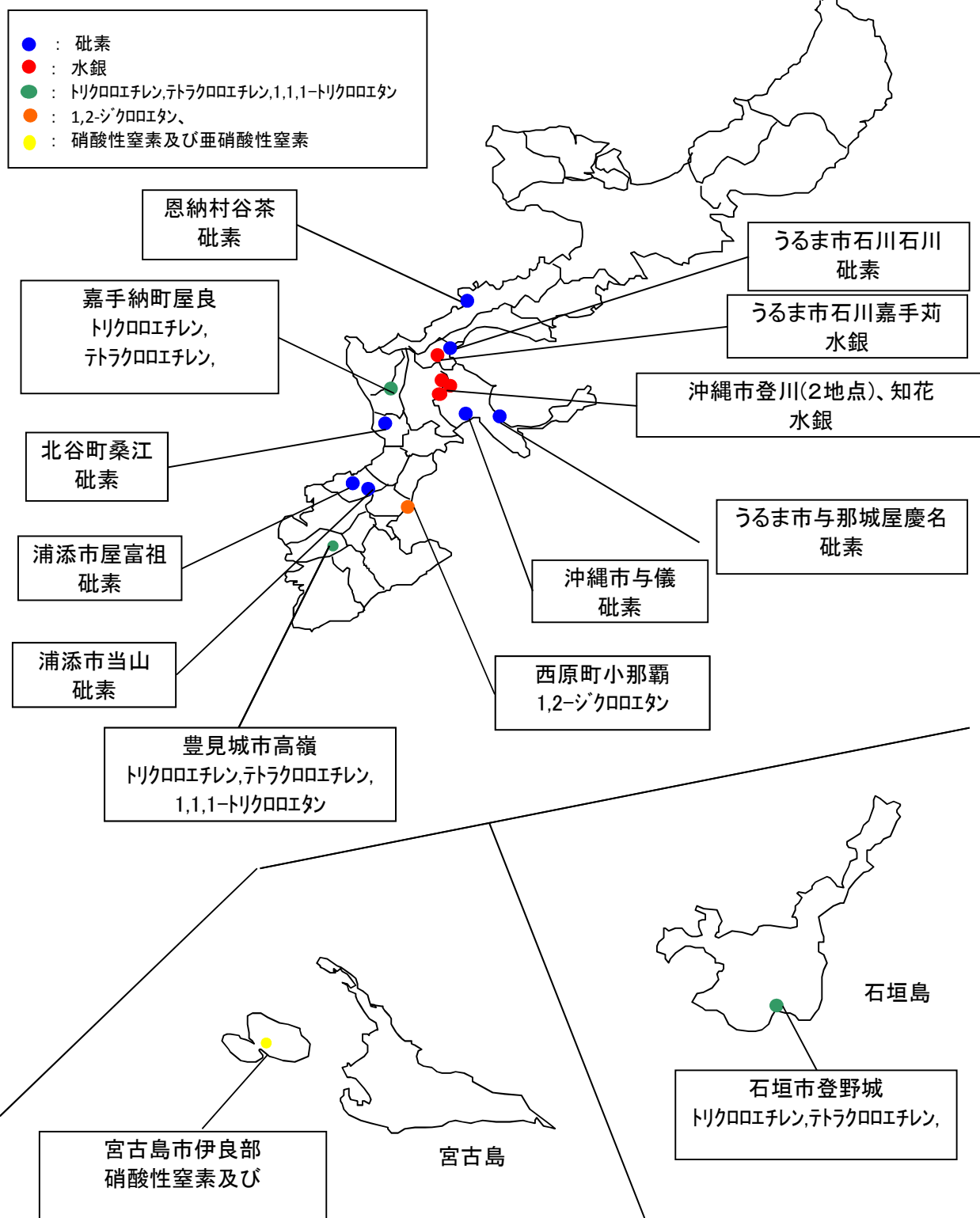
* 1 EC：電気伝導率

* 2 アルキル水銀の測定は、総水銀が検出された場合に行う。

* 3 読谷村楚辺の地点については、測定は2回/年とする。

地下水水質測定地点

継続監視調査調査箇所



平成 24 年度
ダイオキシン類測定計画
(案)

沖縄県

平成 24 年度ダイオキシン類測定計画

1 目的

ダイオキシン類対策特別措置法第 27 条に基づき、県内の大気、水質、土壌等のダイオキシン類による汚染の状況を測定するため、測定地点及びその他必要な事項について定める。

2 測定対象物質

ダイオキシン類対策特別措置法第二条第一項に定める以下の物質

- ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD) 7 種類
- ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) 10 種類
- コプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナーPCB) 12 種類

3 測定項目及び測定方法

項目	環境基準	測定方法
大気	年平均値0.6pg-TEQ/m ³	「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」 (平成20年3月 環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室大気環境課)
水質	年平均値 1 pg-TEQ/L以下	日本工業規格K0312: 2005
底質	150pg-TEQ/g以下	「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」 (平成21年3月 環境省水・大気環境局水環境課)
土壌	1,000pg-TEQ/g以下 ※250pg-TEQ/g以上の場合は追加調査を実施する。	「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」 (平成21年3月 環境省水・大気環境局土壌土壌環境課)

4 測定地点及び測定回数

(1) 大気

ア 測定地点：6 地点 測定回数：3 回

(ア) 一般環境 (2ヶ所)

- ① 那覇市中央公園 (那覇市樋川 1)

② 石垣市役所（石垣市美崎町 14）

（イ）固定発生源周辺（4ヶ所）

- ① 沖縄県北部合同庁舎（名護市大南 1-13-11）
- ② 沖縄市農民研修センター（沖縄市登川 2380）
- ③ 中央公民館（南風原町喜屋武 260 番地）
- ④ 宮古島市役所（宮古島市平良字西里 186）

イ 測定地点の選定理由

一般環境調査については、区域内において固定発生源の影響が少ないところで、生活する人口をより多く網羅しうる地域として選定する。

固定発生源周辺調査については、県内の北部、中部、南部及び離島で通常人が居住し、主要ごみ焼却場を固定発生源として風向、煙突の高さ等を勘案してダイオキシン類の濃度が相対的に高くなると考えられる地点を選定する。固定発生源周辺の調査地点については、平成 12 年度の調査開始後継続して測定を行っており、経年変化等を把握するためにも継続して調査する必要がある。しかし、③については、これまで南風原町社会福祉センター（南風原町照屋 1）で実施してきたが、移転閉鎖により平成 22 年度途中に一時的に近隣の南風原町役場（南風原町字兼城 686 番地）に変更し実施した。平成 23 年度は、年間経緯を確認するために同役場にて通年実施したが、平成 24 年度は新築された南風原町立中央公民館（南風原町喜屋武 260 番地）への変更を予定している。

（2）水質

ア 測定地点

（ア）河川：5 河川 5 地点（括弧内が地点名） 測定回数：1 回

- ① 我部祖河川（奈佐田川合流点から上流 100m）
- ② 比謝川（与那原川合流点）
- ③ 国場川（真玉橋）
- ④ 報得川（水位計設置点）
- ⑤ 名蔵川（石糖取水場前）

（イ）海域：1 海域 1 地点（括弧内が地点名） 測定回数：1 回

- ① 那覇港海域（泊港内）

（ウ）地下水：7 市町村 7 地点 測定回数：1 回

- ① 国頭村、② 東村、③ 大宜味村、④ 今帰仁村、⑤ 本部町、⑥ 宮古島市、⑦ 多良間村

※当該市町村と協議のうえ採取地点を決定する。

イ 測定地点の選定理由

平成 12～13 年度に 25 河川、平成 13～15 年度に 13 海域においてダイオキシン類測定を実施し、他の地点と比較して高い値を示した河川 7 地点、海域 3 地点について 16 年度から 19 年度まで継続して調査を実施してきた。

これまでの調査結果から、県内におけるダイオキシン類による汚染状況は低いことが判明したため、土壌等の調査が二巡した平成 19 年度(平成 20 年度計画)に調査地点、調査箇所の見直しを行った。

平成 24 年度は、引き続き河川 5 地点海域 1 地点について、年 1 回の調査を実施する。

地下水については、土壌調査に合わせ調査する予定である。調査は、県域を 6 区域に分け、平成 20 年度から 6 年で一巡する計画であり、平成 24 年度は、本島北部、宮古島及び多良間島の調査を実施する。

(3) 底質

ア 測定地点

水質の調査地点と同じ。

イ 測定地点の選定理由

水質の調査と合わせて底質の調査を実施する。

(4) 土壌

ア 測定地点（発生源周辺調査地点については図 5 参照）

(ア) 一般環境調査 7 市町村 7 地点 測定回数：1 回

- ①国頭村、②東村、③大宜味村、④今帰仁村、⑤本部町、⑥宮古島市、⑦多良間村

※当該市町村と協議のうえ採取地点を決定する。

(イ) 発生源周辺調査：9 地点 測定回数：1 回

- ①宮古島市クリーンセンター ごみ焼却炉 周辺 9 地点。

イ 測定地点の選定理由

一般環境調査については、県域を 6 区域に分け、平成 20 年度から 6 年で一巡する計画であり、平成 24 年度は本島北部、宮古島及び多良間島を調査する。

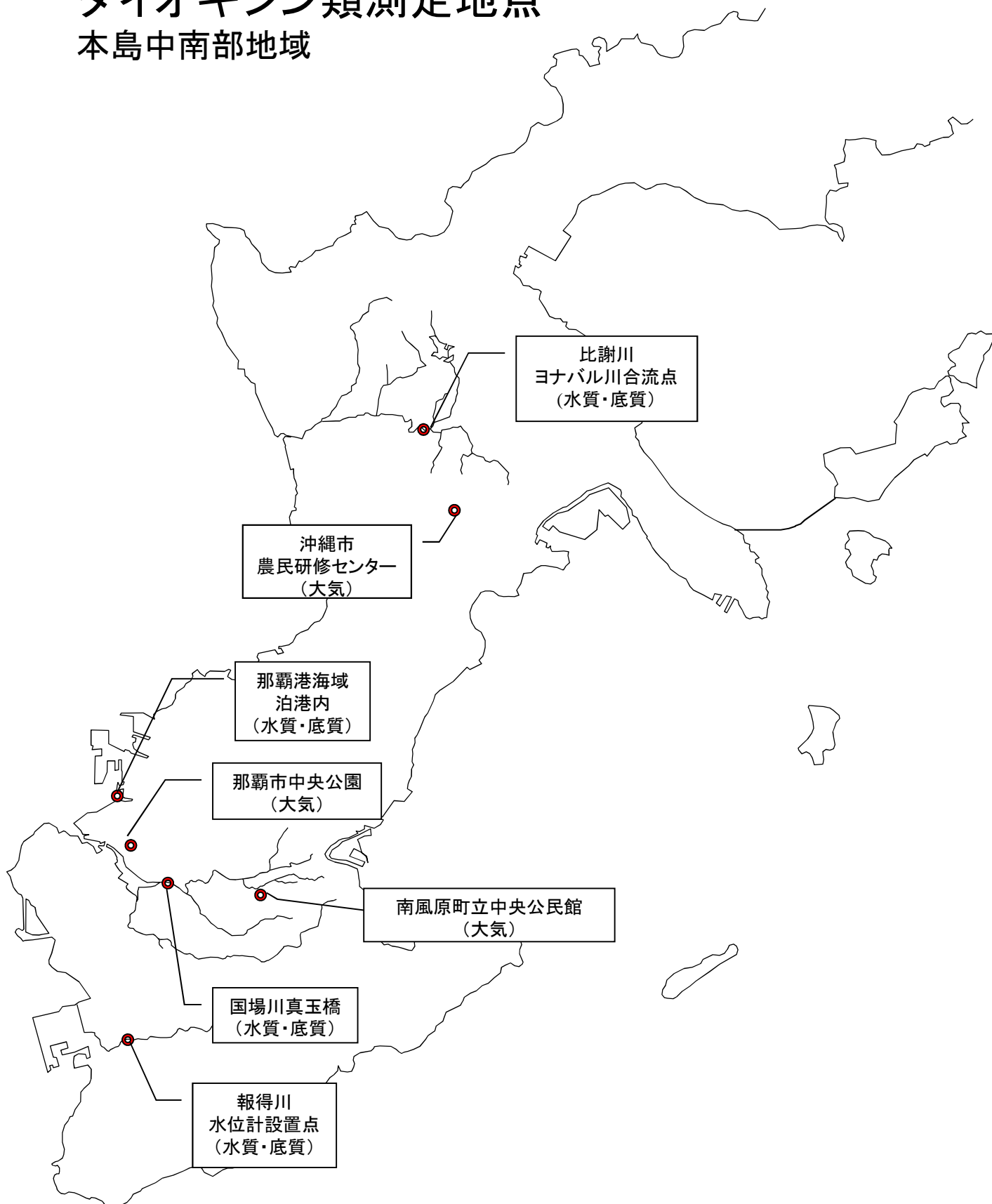
発生源周辺調査については、宮古地域の焼却施設の焼却量の大きい施設を選定する。

ダイオキシン類測定地点 本島北部地域



図2

ダイオキシン類測定地点 本島中南部地域



ダイオキシン類測定地点 宮古・八重山地域

図3

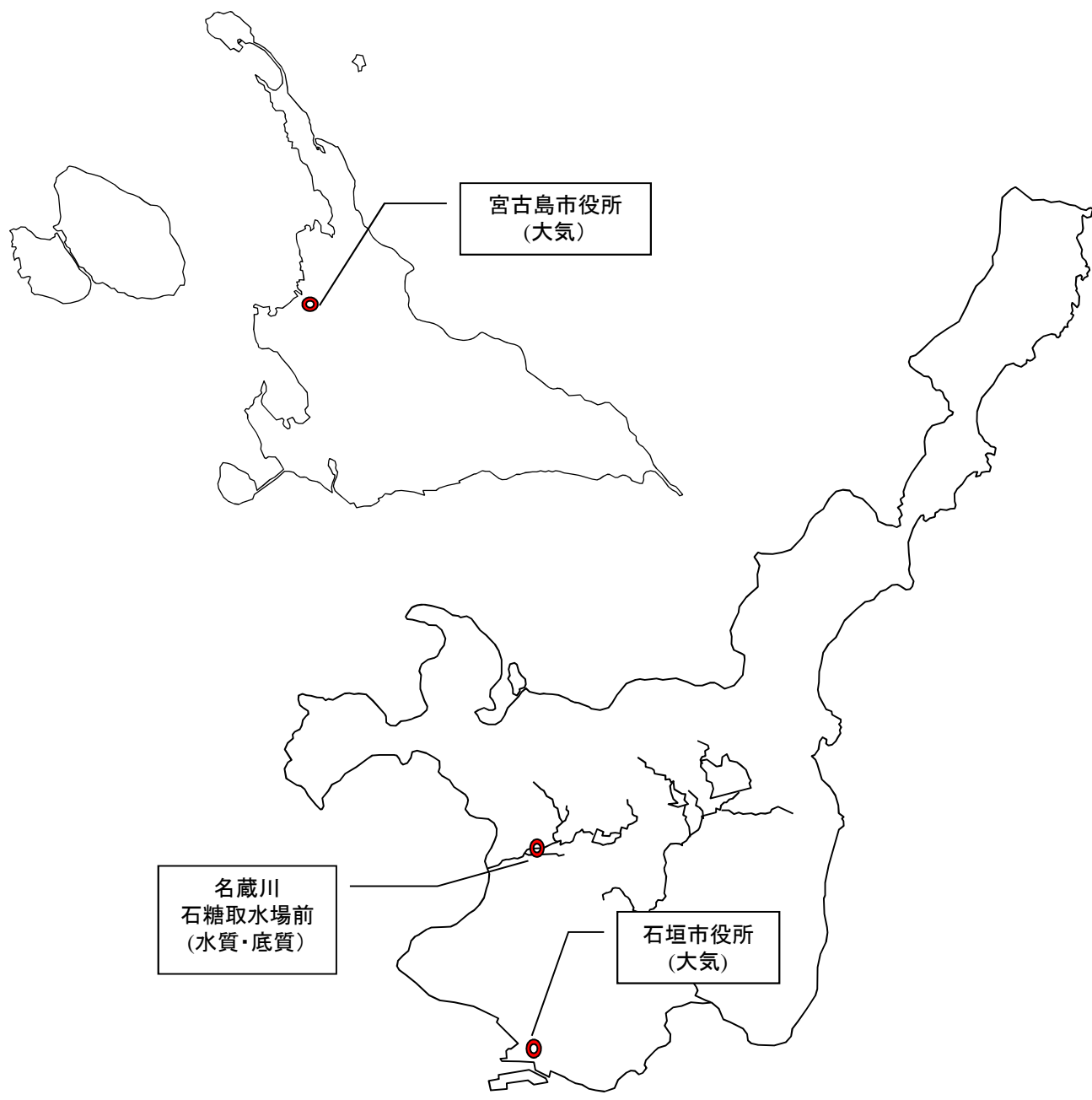


図4

南風原町社会福祉センター(大気) 閉鎖に伴う調査地点の変更予定地点



図5

平成24年度ダイオキシン類発生源周辺調査計画



発生源：宮古島市クリーンセンター

環境中のダイオキシン類測定予定地比較表

測定項目		平成23年度	平成24年度	変更点
大気	一般環境	○那覇市中央公園 ○石垣市役所 (2地点:年3回)	○那覇市中央公園 ○石垣市役所 (2地点:年3回)	無し
	発生源周辺	○沖縄県北部合同庁舎 ○沖縄市農民研修センター ○南風原町役場 ○宮古島市役所 (4地点:年3回)	○沖縄県北部合同庁舎 ○沖縄市農民研修センター ○南風原町役場 又は 南風原町中央公民館 ○宮古島市役所 (4地点:年3回)	22年度中に社会福祉センターが移転し、現庁舎が閉鎖されたため、南風原町役場に移動した。24年度は、新築の町立中央公民館にて実施する予定。
河川	水質	○我部祖河川奈佐田川合流点から上流100m ○比謝川ヨナバル川合流点 ○国場川真玉橋 ○報得川水位計設置点 ○名蔵川石糖取水場前 (5地点:年1回)	○我部祖河川奈佐田川合流点から上流100m ○比謝川ヨナバル川合流点 ○国場川真玉橋 ○報得川水位計設置点 ○名蔵川石糖取水場前 (5地点:年1回)	無し
	底質	上記5地点:年1回	上記5地点:年1回	無し
海域	水質	○那覇港海域泊港内 (1地点:年1回)	○那覇港海域泊港内 (1地点:年1回)	無し
	底質	上記1地点:年1回	上記1地点:年1回	無し
地下水		本島中部地域・本島周辺離島 ○沖縄市 ○恩納村 ○宜野座村 ○金武町 ○うるま市 ○名護市 ○粟国村 (7地点:1回)	本島北部地域・宮古島、多良間島 ○国頭村 ○東村 ○大宜味村 ○今帰仁村 ○本部町 ○宮古島市 ○多良間村 (7地点:1回)	県内を引き続きローテーションで調査する。 調査対象市町村は、土壌と地下水で同一とする。
土壌	一般環境	本島中部地域・本島周辺離島 ○沖縄市 ○恩納村 ○宜野座村 ○金武町 ○うるま市 ○名護市 ○粟国村 (7地点:1回)	本島北部地域・宮古島、多良間島 ○国頭村 ○東村 ○大宜味村 ○今帰仁村 ○本部町 ○宮古島市 ○多良間村 (7地点:1回)	
	発生源周辺	中部北環境施設組合 ゴミ焼却施設 ○うるま市(3地点) ○沖縄市(6地点) (9地点:1回)	宮古島市クリーンセンター焼却炉 ○宮古島市(9地点) (9地点:1回)	土壌(一般環境)で調査する市町村の焼却施設を対象とする。

()内の数値は測定地点数

環境中の大気汚染類測定地点一覧（平成12年度～平成15年度）

測定項目		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
大気	一般環境	○那覇市中央公園 ○石垣市役所(2地点:年3回)	平成12年度と同じ	平成12年度と同じ 但し測定回数年4回	平成14年度と同じ
	発生源周辺	○沖縄県北部合同庁舎 ○沖縄市農研センター ○南風原町社会福祉センター ○平良市役所(4地点:年3回)	平成12年度と同じ	平成12年度と同じ 但し測定回数年4回	平成14年度と同じ
河川	水質	○比謝川ポンプ場、○国場川那覇大橋、○満名川渡久地橋、○羽地大川名護市取水点、○我部祖河川石橋、○安波川安波大橋、○汀間川嘉手苜橋、○天願川河口、○久茂地川泉崎橋、○安里川崇元寺橋、○饒波川石火矢橋、○安謝川安謝橋、○報得川水位計設置点、○牧港川取水場跡、○源河川取水場、○平南川アザカ橋、○大保川田港橋、○宮良川平喜名橋、○名蔵川石糖取水場前、○雄樋川前川(20地点)	○雄樋川石川橋、○国場川真玉橋、○牧港川宇地泊川取水場跡、○比謝川ヨナバル川合流点、○比謝川トニー橋、○天願川合流点下流100m、○汀間川三原小中校前堰堤上50m、○我部祖河川奈佐田川合流点から上流100m、○満名川伊野波川合流点、○新川川下流の高江橋、○安波川安波小中校後方、○普久川御拝橋、○御拝橋上流420mの沢、○辺野喜川辺野喜橋(14地点)	—	—
	底質	同上	同上	—	—
海域	水質	—	○中城湾当添海岸、○与勝海域埋立地西海岸、○金武湾天願川河口地先、○那覇港内、○名護湾名護海岸、○羽地内海仲尾次漁港西埠頭から北西100m(6地点)	○中城湾内2、○中城湾3、○那覇港海域自謝加瀬東、○那覇港沖、○那覇新港入口、○泊港内、○平良港第3埠頭北端から北へ300m、○石垣港浜崎地区、○川平湾小島南先端、○糸満海域岡波岩東、○糸満漁港、○糸満漁港沖(12地点)	○金武湾石川ビーチ沖、○金武湾口中央、○名護湾内、○名護湾部間海岸、○呉我船揚場、○羽地内海中央、○羽地内海北水路南端、○恩納海域伊武部海岸地先、○恩納漁港地先、○恩納海域富着海岸地先、○恩納海域長浜海岸地先(11地点)
	底質	—	同上	同上	同上
地下水	一般環境	本島南部地域 ○那覇市(3)、○南風原町、○与那原町、○佐敷町、○大里村、○知念村、○玉城村、○具志頭村、○東風平町、○豊見城村、○糸満市(13地点)	本島中部地域 ○宜野湾市(2)、○浦添市(2)、○嘉手納町(2)、○沖縄市(2)、○具志川市(2)、○石川市(2)、○西原町、○北谷町、○勝連町、○与那城町、○読谷村、○北中城村、○中城村、○恩納村(20地点)	宮古地域・八重山地域・南部離島地域 ○平良市、○城辺町、○下地町、○伊良部町、○上野村、○多良間村、○石垣市、○竹富町、○与那国町、○久米島町、○渡嘉敷村、○座間味村、○渡名喜村、○粟国村、○南大東村、○北大東村(16地点)	本島北部地域・北部離島地域 ○名護市、○金武町、○本部町、○宜野座村、○今帰仁村、○大宜味村、○東村、○国頭村、○伊江村、○伊是名村、○伊平屋村(11地点)
	一般環境	本島中南部地域 ○北谷町、○沖縄市、○中城村、○北中城村、○西原町、○宜野湾市(2)、○浦添市、○那覇市、○大里村、○佐敷町、○知念村、○玉城村、○具志頭村、○東風平町、○豊見城村、○糸満市(2)(18地点)	本島中北部地域 ○嘉手納町(2)、○具志川市(2)、○石川市、○勝連町、○与那原町、○金武町、○読谷村、○恩納村、○宜野座村(11地点)	同上	同上
土壌	一般環境	同上	同上	同上	同上
	発生源周辺	那覇市清掃センター ○那覇市(2)、○西原町、○与那原町、○南風原町(3)、○東風平町、○糸満市(9地点)	中部北環境施設組合具志川工場 ○沖縄市(6)、○具志川市、○石川市(2)(9地点)	平良市清掃センター ○平良市(9)(9地点)	名護市環境センター ○名護市(9)(9地点)

環境中のダ 付キシ類測定地点一覧(平成16年度～平成19年度)

測定項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
大気	一般環境	○那覇市中央公園 ○石垣市役所(2地点:年4回)	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ
	発生源周辺	○沖縄県北部合同庁舎 ○沖縄市農民研修センター ○南風原町社会福祉センター ○平良市役所(4地点:年4回)	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ
河川	水質	○我部祖河川奈佐田川合流点から上流100m、 ○比謝川トニー橋、 ○比謝川ヨナバル川合流点、 ○国場川真玉橋、 ○雄樋川石川橋、 ○報得川水位計設置点 ○名蔵川石糖取水場前 (7地点:年2回)	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ
	底質	上記7地点:年1回	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ
海域	水質	○那覇港海域那覇港内、 ○那覇港海域泊港内、 ○糸満海域糸満漁港、 (3地点:年2回)	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ
	底質	上記3地点:年1回	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ	平成16年度と同じ
地下水	本島南部地域・南部離島地域 ○那覇市(2)、○南風原町、 ○与那原町、○佐敷町、○大里村、 ○知念村、○玉城村、○具志頭村、 ○東風平町、○豊見城村、 ○糸満市、○久米島町、 (13地点)	本島中部地域 南部離島地域 ○浦添市、○宜野湾市、 ○北谷町、○嘉手納町、○読谷村、 ○西原町、○中城村、○北中城村、 ○沖繩市、○具志川市、 ○勝連町、○与那城町、 ○南大東村、○北大東村 (14地点)	本島北部地域 北部離島地域 ○恩納村、○金武町、 ○宜野座村、○名護市、 ○本部町、○今帰仁村、 ○大宜味村、○東村、 ○国頭村、○伊江村、 ○伊是村名、 ○伊平屋村、 (12地点)	宮古・八重山地域 南部離島地域 ○宮古島市(3+伊良部1)、 ○多良間村、○石垣市(2)、 ○竹富町、○与那国町、 ○渡名喜村、 ○粟国村、 ○渡嘉敷村、 ○座間味村 (13地点)	
土壌	一般環境	本島中南部地域 ○北谷町、○沖繩市、○中城村、 ○北中城村、○西原町、 ○宜野湾市、○大里村、 ○佐敷町、○知念村、 ○玉城村、○具志頭村、 ○東風平町、○豊見城村、 ○糸満市 (14地点)	本島中南部地域 南部離島地域 ○南風原町、○与那原町、 ○浦添市、○嘉手納町(2)、 ○具志川市(2)、 ○勝連町、○与那原町、 ○読谷村、○久米島町、 ○南大東村、○北大東村 (13地点)	本島北部地域 北部離島地域 ○恩納村、○金武町、 ○宜野座村、○名護市、 ○本部町、○今帰仁村、 ○大宜味村、○東村、 ○国頭村、○伊江村、 ○伊是村名、 ○伊平屋村 (12地点)	宮古・八重山地域 南部離島地域 ○宮古島市(3+伊良部1)、 ○多良間村、○石垣市(2)、 ○竹富町、○与那国町、 ○渡名喜村、 ○粟国村、 ○渡嘉敷村、 ○座間味村 (13地点)
	発生源周辺	浦添市環境センター ○浦添市(2)、○那覇市(5)、 ○豊見城市(8地点)	倉浜衛生施設組合 ○沖繩市(8)(8地点)	本部町・今帰仁村清掃施設組合 ○本部町(9)(9地点)	石垣市クリーンセンター ○石垣市(9)(9地点)

()内の数値は測定地点数

環境中のダイオキシン類測定予定地点一覧(平成20年度～23年度)

測定項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
大気	一般環境	○那覇市中央公園 ○石垣市役所(2地点:年4回)	平成20年度に同じ	地点は平成20年度に同じ(年3回)	平成22年度に同じ
	発生源周辺	○沖縄県北部合同庁舎 ○沖縄市農民研修センター ○南風原町社会福祉センター ○宮古島市役所(4地点:年4回)	平成20年度に同じ	地点は平成20年度に同じ(年3回)	平成22年度に同じ
河川	水質	○我部祖河川奈佐田川合流点から上流100m、 ○比謝川ヨナバル川合流点、 ○国場川真玉橋、 ○報得川水位計設置点 ○名蔵川石糖取水場前 (5地点:年1回)	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ
	底質	上記5地点:年1回	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ
海域	水質	○那覇港海域泊港内、 (1地点:年1回)	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ
	底質	上記1地点:年1回	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ	平成20年度に同じ
地下水		本島南部地域・南北大東地域	本島中南部地区・本島周辺離島	本島中部地区・本島周辺離島	本島中部地域・本島周辺離島
		○南風原町、○糸満市、○南城市、○八重瀬町、○与那原町、○南大東村、○北大東村 (7地点)	○那覇市、○浦添市、○豊見城市、○宜野湾市、○西原町、○久米島町、○伊江村 (7地点)	○嘉手納町、○北谷町、○読谷村、○北中城村、○中城村、○伊平屋村、○伊是名村 (7地点)	○名護市○恩納村、○宜野座村、○金武町、○うるま市、○沖縄市、○粟国村 (7地点)
土壌	一般環境	本島南部地域・南北大東地域	本島中南部地区・本島周辺離島	本島中部地区・本島周辺離島	本島中部地域・本島周辺離島
		○南風原町、○糸満市、○南城市、○八重瀬町、○与那原町、○南大東村、○北大東村 (7地点)	○那覇市、○浦添市、○豊見城市、○宜野湾市、○西原町、○久米島町、○伊江村 (7地点)	○嘉手納町、○北谷町、○読谷村、○北中城村、○中城村、○伊平屋村、○伊是名村 (7地点)	○名護市○恩納村、○宜野座村、○金武町、○うるま市、○沖縄市、○粟国村 (7地点)
	発生源周辺	糸豊環境美化センター	那覇・南風原クリーンセンター	中城青葉苑	中部北環境施設組合 ごみ焼却施設
		○糸満市(8地点)	○那覇市(2地点)、 ○南風原町(7地点)	○西原町(1地点) ○中城村(4地点) ○北中城(1地点) ○宜野湾市(1地点)	○うるま市(3地点) ○沖縄市(6地点)

()内の数値は測定地点数